

J H F 理事会議事録

日 時： 2007年9月5日(水) 12:00~18:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人： 大沢豊 狩野智子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】内田孝也 大沢豊 狩野智子 菊池守男

下村孝一 城 涼一 松田保子

【監事】市川 孝 對馬和也

欠席 理事 荒井健雄

(出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

議長： 7月4日理事会以降のことで、報告すべきことがありましたらお願いします。

菊池副会長： 鳥人間コンテストに審査員として出席しました。報告事項に掲載していますのでご覧いただきたいと思います。なお新会長が一生懸命やっていますので、各理事は担当の部署をしっかりとこなし、会長を支えなければと思います。

松田常任理事： 昨日、スカイスポーツシンポジウム実行委員会に出席しました。12月に、日大船橋校舎で開かれるシンポジウムで、福岡聖子さんに特別講演をお願いしております。それと個人的にハングの世界選手権へ行って参りました。初日、日本チームは1位に輝きましたが、総合では7位となりました。この調子で頑張っていけたらと思っています。

市川監事： 構成員ではございませんので、特に発言はございません。

下村常任理事： 秋田国体デモスポ大会に行きましたが、兵庫県とは取り組み方が違うなどという印象を受けました。秋田は自治体を取り仕切り、対象も県内に絞っているようでした。

對馬監事： JPA のエリアに飛びに行ったらリパック証明を要求されました。JHF としても、この制度をぜひ検討していただきたいと思います。

城常任理事： 内田さんに一生懸命やっていただいて非常に心強く思っております。もう少し肩の力が抜けるように、周りでサポートしていきたいと思います。

狩野理事： 8月末に木崎湖のマヌーバトレニングに参加しました。フライヤー登録を推進できる様に身近な所から頑張りたいと思います。

添石事務局長： サーバーが不調で、ホームページとメール機能がダウンしています。ご迷惑をおかけしていますが、一両日中には復旧すると思いますので宜しくお願いいたします。

大沢理事： 会員同志でサポートして更新漏れを防げるような試みを始めようと思っています

す。それと HG 競技委員会から来年の日本選手権を足尾でやって欲しいという要請を受けていますので、茨城県連で打ち合わせたいと思います。

議長（内田）： 8月にパラワールド誌からインタビューを受けました。7月理事会が終わったばかりなので、理事会の方針ではなく、私の人となり語ることにしました。近日中にはフライヤー誌のインタビューも受けることになると思いますが、今日の理事会で対外的な方向性が見えてくれば、その辺のところも語るができるのかなと期待しています。

菊池副会長： 言い忘れたのですが、日本経済新聞社から取材を受けました。消費生活製品安全保護法について JHF はどの様にされていますかということでしたので、4月19日に開催したセミナーをベースに JHF の取り組みを説明しておきました。新聞のコラムか何かに使うのではないかと思います。

議長： 取材を受ける時には、一方的に受け手に立つのではなくて、プレスキットなどを配布して、こちらからも発信するようなことしなければいけないのかなと思っています。それでは、審議事項から順に進めていきたいと思っています。

4. 審議事項

第4-1号議案 JHF レポートの個別発送再開について

松田常任理事： 連盟の収支のバランスも改善してきましたので、JHF レポートの個別発送の再開について提案いたします。別紙のとおり予算を見積もったので、予備費からの支出を前提に、今年度中に何回発行できるか審議をお願いします。

市川監事： 予備費は理事会の議決があれば使えますが、他にも予備費を必要とする事業があると思いますので、その中で優先順位をつける必要があります。

下村常任理事： 個別配送を再開し、それでまた1年で止める事態になっては困るので、慎重に議論すべきです。予備費の必要な事業はアジア選手権や教本、県連への助成金など他にも予想されます。従って、仮に年2回発行するとして、初回は個別発送ではなくスクール経由で配布し、様子を見て2回目を個別配送するかどうか検討するというのが落とし所かなという気がします。

菊池副会長： 私は逆の意見なのですが、予算が確保できるのであれば初回は個別配送にし、2回目を、若し予算が無ければスクール・クラブ通信に同封して配送するなど考えた方がよいと思います。どの団体でも、例え赤字であっても、年に1回は決算報告やら最小限の報告は配信されます。社団法人である以上はやはり1回は必要かなと思います。

下村常任理事： 2回、3回と出ることを心配しているので、年1回だけ手元に送りますということであればそれでよいと思います。その方が継続できると思います。そういう意味で菊池さんの意見に賛成です。

城常任理事： 下村さんと同意見です。本当はもう少し予備費の使われ方を見てからの方がいいかも知れませんが、年1回ということであればいいと思います。

狩野理事： 紙の資料で送られて来る情報は必要と思いますので、少なくとも年1回、できれば半年に1度位に機関紙が届くと、フライヤーとしても楽しみがあると思います。

大沢理事： 今年度は1回発行し、収支が好転すれば来年度は2回を考えてもいいと思います。但しタイミングも大事ですので合わせて検討していけばいいと思います。

議長： 少なくとも1回という目標がありますが、少ししつこいのですが理事会の理想としてはどうなのかということだけは決めておいた方がいいと思います。正直な所、予算があれば発行したいでしょうし。

添石事務局長： 11月か12月に1回出すとすれば、事実上今年はそれで終わりです。従って最低1回ということではなく、今年は1回出しますという議論の方が現実的だと思います。

次年度からは、もし2回発行するのであれば、他の予算を削るなどして予算組みをすることになると思います。

議長： それでは今年度の発行を1回ということにし、来年度については、予算組みの時にきちんと組み込むということでもよろしいでしょうか。よければ決を取らずに結論にします。次に発行の時期の問題について議論していただきたいと思います。

松田常任理事： 年に1回ですと白書的なものになりますので、理事会の方針を外に発信できる時期に出さないといけません。1つの考えとしては、年度末に出すという手もあります。また最近重大事故が続いていますので、皆さんが活動を休止する冬前に発行する考えもあります。

議長： 仮に来年度2回発行することになった場合、年度末に発行すると間が詰まってしまう可能性があります。そうであれば早く発行し来年度の4月以降に繋げて行く方がいいと私は感じました。

特に意見が無ければ、この4-1号議案は、今年度は年1回、冬前に発行するというところでよろしいでしょうか。よろしければ挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 大沢、狩野、菊池、下村、城、松田

第4-2号議案 パラグライディング教本改訂特別委員会の設置

菊池副会長から別紙のとおりパラグライディング教本改訂特別委員会設置の提案と趣旨説明があった。さらに現教本は重複部分が多く、機材の進歩や教習技術の進展に伴い大きく見直さなければならぬため、当初より多くの予算が見込まれるが、何とか予算内に納まるようにしたいとの松田理事の気持ちが伝えられた。

議長： それでは委員会設置規程第20条に基き、パラグライディング教本改訂特別委員会を設置することについて挙手を求めます。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 大沢、狩野、菊池、下村、城、松田

議長： この委員の任命行為について公式に何かする必要がありますか。

市川監事： 会長名で委嘱状と就任承諾書が必要です。

添石事務局長： 事務手続きについては事務局でフォローします。

松田常任理事： 広報出版部の委員については、対象となる委員を報告しますのでその後に発行してください。

付帯事項：松田常任理事への対価について

教本改訂のとりまとめ作業に係わる松田常任理事への対価について、別紙のとおり常設委員会の旅費規程に準じて支払う旨提案があった。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で、提案どおり可決された。

賛成： 大沢、狩野、菊池、下村、城、松田

第4-3号議案 AEDのレンタルについて

添石事務局長から別紙のとおりAEDのレンタルについて申請があり審議した。

菊池副会長： 提案内容からすると良心的なリースのようであり、とりあえず5年間はこの料金で確保し、新機種が出たら5年後に考えたらよいと思います。

議長： セコムの契約書では、利用に当たって、設置場所の固定を謳っていませんか。

菊池副会長： ポータブルですから、許容範囲があるとは思いますが。

添石事務局長： 大会やイベントに持って行って使えますかと聞いてみましょう。

市川監事： 「問題が無ければ」と言う条件付で議決しておけばよいと思います。

議長： 他に質問がなければ、付帯条件付の決議にします。セコムとの契約上事務局外で使用しても、サービス内容が有効であることを確認出来たら契約するという事で決議をしたいと思います。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 大沢、狩野、菊池、下村、城、松田

第4-4号議案 AED、ポロジメータの運用について

前回理事会で決めた安全性委員会への諮問に対する同委員会からの答申。

協議の結果、AED使用料について意見が分かれた。

1案が委員会答申案どおり無料、2案が5千円若しくはそれ以下の金額で有料とする、3案が当初無料で一年後から有料にする案である。

採決の結果、【1案2名、2案0名、3案4名】で、一年間は答申案どおり無料とし2年目以降有料とすることに決定した。

付帯事項：

貸出に当たって必要な手続きや様式を事務局で作成し、理事会の承認を得ること。

5. 協議事項

5-1 2007年度教員更新講習会について

8月22日付けで、荒井理事が教員・スクール事業委員会へ発信したメール文書。本来、この提案に対する委員会の意見を集約し、今年度の教員更新講習会実施案を審議事項として提案する予定だったが、委員会の意見を集約できなかったため協議事項として提出されたもの。

協議の結果、委員会に対して改めて教員更新講習会実施の具体案を諮問することにし、諮問文書に次のことを明記することになった。

- 1 今年度教員更新講習会予算の増額
- 2 モデル講習会の具体案（いつ、どこで、だれが）
- 3 正味1日のカリキュラムとすること
- 4 都道府県連盟で実施する講習会への協力内容
- 5 答申の期限を9/14とする

なお予算の増額について、現行の9万円に予備費から21万円を増額充当し30万円とする提案があり

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 大沢、狩野、菊池、下村、城、松田

5-2 2007年度普及振興費の見直し

8月24日付 JHF 発第 07-065 号神奈川県連への回答文書で約束した案件。協議の結果、狩野理事、菊池副会長を担当理事とし、次回理事会へ普及事業費の見直し案を提案してもらうことになった。

5-3 2008年都道府県連盟助成金明細の検討

同じく前述の神奈川県連への回答文書で言及した案件。次回総会で、予算案審議の折に、理事会の見解を正会員に説明することとした。また助成金という名称使用に混乱があり、「地域ハンググライディングスポーツ振興事業費交付要綱」を見直す時期に来ていることを確認した。

5-4 理事会への要望（ハンググラディング競技委員会提案）

総会での発言権についての誤解に基く要望であり、理事会として公式には回答しないことになった。

5-5 新公益法人に向けての移行準備（資料無し）

新公益法人制度への移行準備について協議した。制度委員会担当理事である城常任理事と内田会長を新制度移行準備の担当理事とし、市川監事がバックアップすることになった。

- ・ 文部科学省実地検査の結果について再確認する

・当面公益法人専用の会計ソフトを使用せず現行会計ソフト（弥生会計）を読み替えて使用する
等について話合った。

5-6 理事会・情報共有システムについて

内田会長の提案。役員が事務局まで来なくとも、会議資料や決済資料等を、ネットを通じて役員限定で共有できるようにしようというもの。別紙資料に基きその概要と操作方法について説明した。このシステム構築に必要な予算は8万円。
協議の結果、当該システム構築については、もう少し検討しようということになった。

5-7 エアー漏れ定期検査証の作成について

安全性委員会下山委員長から、別紙のとおりエアー漏れ定期検査済証の作成について提案があった。協議の結果、下山委員長と相談の上、事務局で具体化することになった。また配布方法や販売価格については、詳細見積りを取った上で、改めて理事会に報告し了解を得ることとした。

5-8 会員システム JDC の最終支払い

西ヶ谷氏からの JDC システムに関する最終請求書。明細は第三フェーズのバグ取りと、マニュアル製作としての金額 300,000 円。
事務局から現状説明を行ったが、なお不明な点が多く内田会長が最終確認をした上で支払うことになった。

疑問点：

1. 6月に発生したコンビニ代行収納データの取り込みエラーの原因が完全に解消されたかどうか確認できていない。
2. エラー発生時に事務局でなぜいち早く察知できないか。システムと内部管理の両面からチェックする必要がある。

5-9 スケジュール調整（空の日、SLJ、PG日選）

空の日 9月20日（木）

パラグライディング日本選手権 10月5日（金）—8日（月）

SLJ 都城 11月10日（土）—11日（日）

後日メールで調整することになった。

6. 報告事項

それぞれ各担当者から別紙のとおり報告し了承された。

- 6-1 現金・預金・郵便振替残高明細
- 6-2 フライヤー会員登録・技能証発行実績
- 6-3 HG/PG/MPG 事故発生件数
- 6-4 役員就任あいさつ状の配布先一覧
- 6-5 事務局備品台帳
- 6-6 第31回鳥人間コンテスト機体審査について
- 6-7 パラグライディング教本改訂作業の進行状況
- 6-8 東昭先生感謝会ご招待の件

岡 CIVL デリゲートと内田会長が参加することになった

6-9 体力づくり推進フォーラム 2007

大沢理事が出席することになった

6-10 公益法人制度改革特別セミナー

内田会長、城常任理事、市川監事が出席することになった。

6-11 FAI 宣伝広告掲載について

6-12 紀ノ川フライトパーク/防災のための無線の無料貸出しについて

特例として無料で貸し出しすることになった。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(内田 孝也)

署名人

(大沢 豊)

署名人

(狩野 智子)

議事録作成人：桜井加代子